

平成 23 年度活動方針

## 美しい心と愛校心 絆を結ぶ お手伝い

私たち保護者は 私たちの大切な子どもに 附属中学校を選んで入学させました。  
附属中学校に何を期待して入学させたのでしょうか？

しっかりとした学力を身に付けさせるために・・・

熱意のある先生方の指導を受けさせるために・・・

いじめや暴力の無い「荒れていない」環境を求めて・・・

学費や給食や通学の便利さなど積極的ではない理由から・・・

子どもが自ら望んで附属中学校を選んで。など・・・

附属中学校を選んだ理由は、保護者や生徒それぞれの考えがあつてのことでしょう。  
しかし、全ての結論は附属中学校が良いと思ったからなのです。

附属中学校らしさとは何なのでしょう？

私は、良い保護者と、良い先生と、良い生徒と、良い友達がそれぞれ、「より良くなるう」  
としている所にあると思っています。

より良くなるうとする心とは 美しい心であり 学校を愛する心であり 全ての人と人  
とを結ぶ絆の力であると信じています

育友会の活動は、子どもたちと会員一人ひとりのそんな思いを結ぶお手伝いであれば素  
晴らしいと思います。

3月11日に東北・東日本を中心に襲った、地震と津波の被害は、多くの貴重な命を奪い、  
いまなお多数の行方不明者を残しています。

命を奪い、財産を奪い、故郷を奪った、未曾有の自然災害と、日本全体を脅かす放射能  
汚染や停電などの二次的被害をもたらす原子力発電所の事故。

また、私たちの子どもと同じ中学生も多数が犠牲になりました。親や保護者を亡くした  
子どもたちもたくさんいます。

「備え」に完全という言葉は当てはまらないと思いますが、備えるに越したことは無い  
と思います。特に、学校にいる間の危機管理については、先生方だけにお任せするのでは  
なく、保護者として絶大な協力をしていかなければならないことであると考えます。